Avaya Vantage クイックスタート

リリース 3.2.x
版 2
2025 年 7 月

チャプター 1：Avaya Vantage™ の概要

Avaya Vantage™ デバイスは、カスタマイズ可能な統合通信ソリューションと、機能性の高い Android デバイスの両方の利点を兼ね備えています。Avaya Vantage™ では、トークバック、拡大、フォントまたは表示サイズの設定を含む Android のすべてのユーザー補助サービスがサポートされます。リリース 3.0 以降は、Avaya Vantage™ デバイスにはビルトインユニファイドコミュニケーション（UC）エクスペリエンスが付属しています。Avaya Vantage™ デバイスに他のアプリケーションをインストールして使用することもできます。

業務の必要性に応じて、次のいずれかの Avaya Vantage™ デバイスを選択できます。

- Avaya Vantage™ K175（カメラ搭載）：8 インチスクリーンの標準デバイスで、ビデオの通話や会議に適した内蔵カメラを搭載しています。
- Avaya Vantage™ K175（カメラ非搭載）：8 インチスクリーンの標準デバイスで、内蔵カメラは搭載していません。他のユーザーからのビデオは受信できます。
- Avaya Vantage™ K155：コンパクトな 5 インチスクリーンのデバイスです。このデバイスは物理キーパッドと内蔵カメラも備えています。

Avaya Vantage™ デバイス用のオプションのコンポーネント

次のオプションのコンポーネントを Avaya Vantage™ デバイスと併用できます。

オプションのコンポーネント	パーツ番号
J1B1 コード付きハンドセットとクレイドルキット	700512399
J2B1 コードレスハンドセットとクレイドルキット	700512398
クレイドルなしの交換用コード付きハンドセット	700513633
クレイドルなしの交換用コードレスハンドセット	700512774
ハンドセットクレイドル用壁掛けブラケット	700512776
USB-C - USB-C ケーブルと、米国、EU、英国、オーストラリア用互換クリップ装備のグローバル電源アダプタ	700515628
中国、アルゼンチン、韓国、インド、ブラジルなどの国用互換クリップ装備の電源アダプタクリップキット	700515629

上記オプションのコンポーネントは別途購入する必要があります。

デバイスの物理レイアウト

Avaya Vantage™ K175 のレイアウト

Avaya Vantage™ K175 デバイスは縦向きのタブレットに似ています。一部の K175 デバイスには、内蔵カメラが搭載されています。

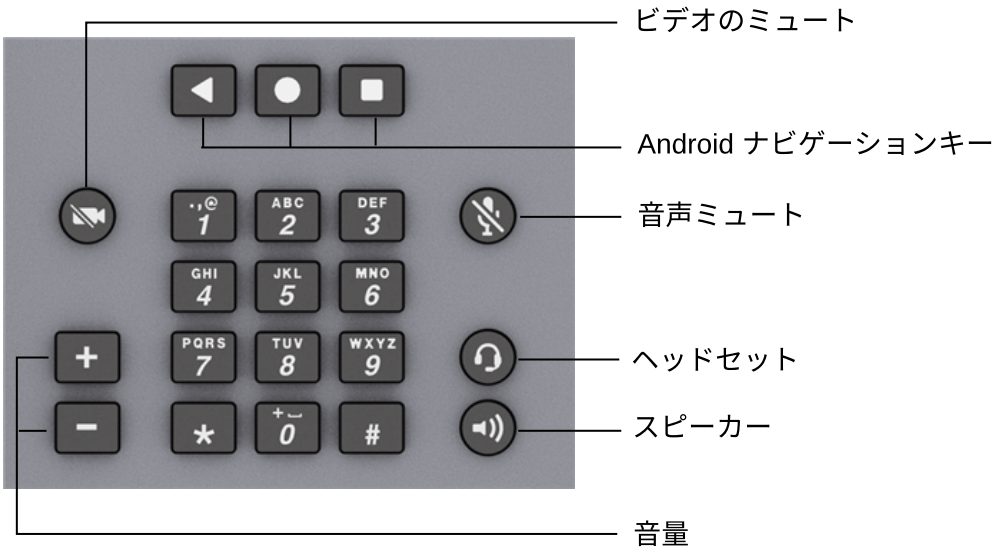
次の画像はカメラ内蔵の K175 デバイスのレイアウトを示しています。カメラ非内蔵デバイスの場合、カメラとカメラアクティビティインジケータは適用されませんが、他のすべての要素は同じです。

* これは、カメラを搭載していない K175 デバイスには適用されません。

Avaya Vantage™ K155 のレイアウト

Avaya Vantage™ K155 デバイスには、5 インチの横向きの画面、物理的なキーパッド、内蔵カメラが搭載されています。次は K155 デバイスの画像です。

キーパッドの機能キー

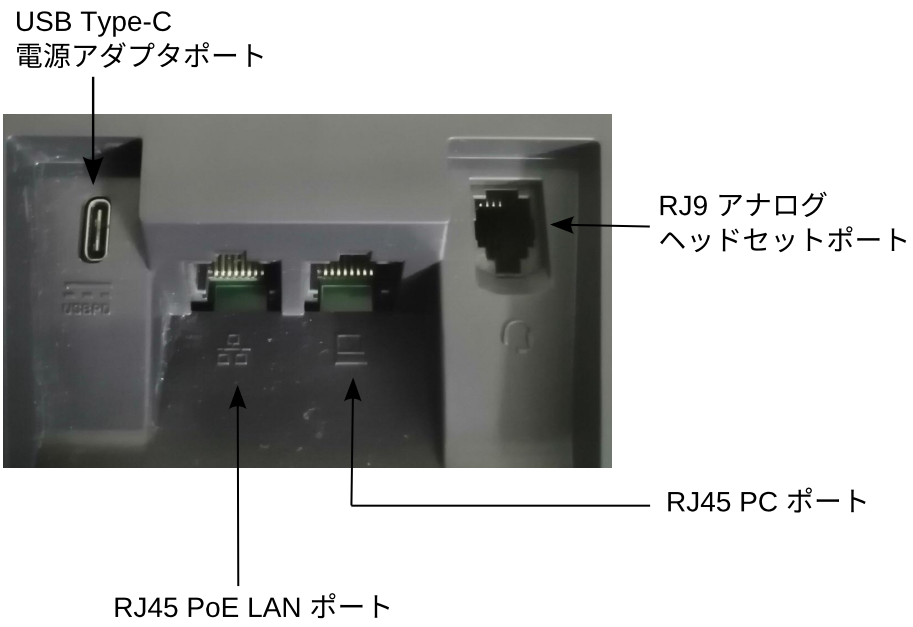


コネクタとコントロール

次の写真は Avaya Vantage™ デバイスで使用できるオプションを示しています。

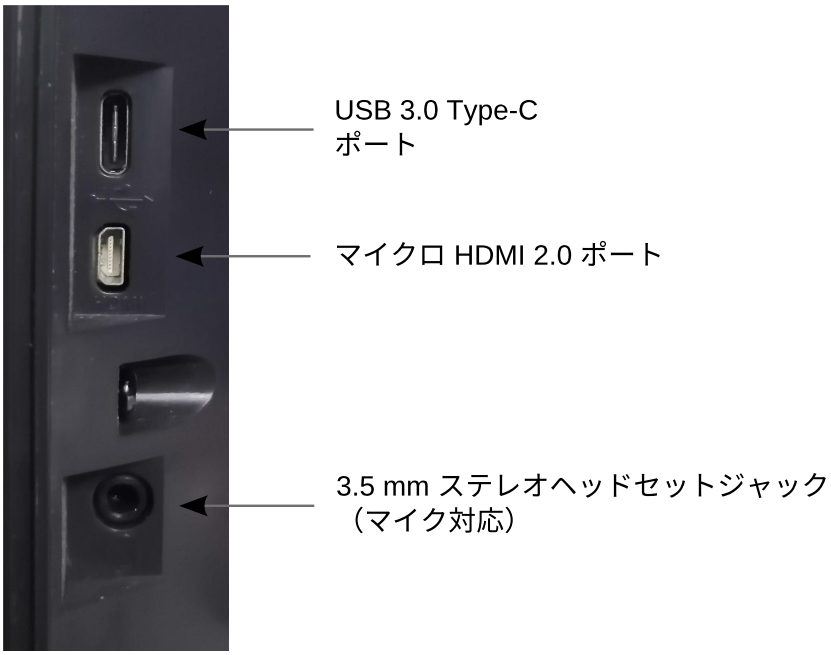
背面パネル

背面パネルには USB Type-C 電源アダプタポート、RJ9 ヘッドセットポート、内蔵イーサネットスイッチ付きのデュアルイーサネットポートが搭載されています。



右側のパネル

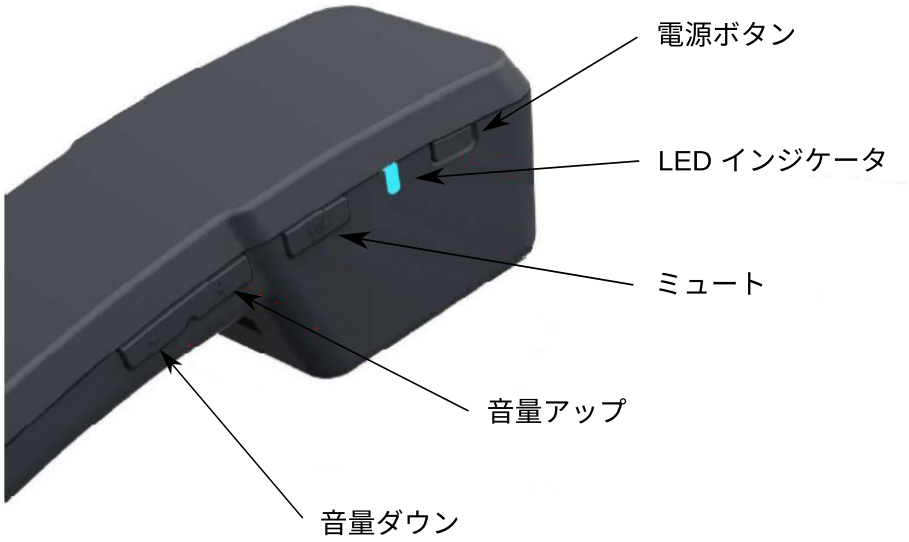
右側のパネルには 3.5 mm オーディオジャックソケット、USB Type-C 汎用ポート、micro HDMI ポートが搭載されています。



左側のパネル

すべての型のデバイスの左側のパネルには、コードレスまたはコード付きハンドセットのクレイドルコネクタが搭載されています。

ワイヤレスハンドセットのレイアウト



チャプター 2：初期設定

Avaya Vantage™ デバイスを開始する

このタスクについて

この手順を使用して Avaya Vantage™ デバイスを電源とネットワークに接続します。デバイスを電源に接続すると、デバイスが起動して初期化されます。

Avaya Vantage™ デバイスの電源が入り、初期化されると、設定されている場合、DHCP または LLDP からファイルサーバーアドレスを取得しようとします。それ以外の場合は Device Enrollment Services 検出を試み、次のいずれかが実行されます。

- Device Enrollment Services はファイルサーバーアドレスをデバイスに自動的に指定します。この場合、これ以外の操作は不要です。
- デバイスで Device Enrollment Services の登録コードの入力が求められます。登録コードを入力すると、Device Enrollment Services はデバイスをファイルサーバーにリダイレクトします。

前提条件

Device Enrollment Services が登録コードを使用するように設定されている場合は、コードがあることを確認します。Device Enrollment Services では 8 または 12 桁の登録コードをサポートします。登録コードの詳細については、「*Avaya Device Enrollment Services を使用したエンドポイントの管理*」を参照してください。

手順

1. 有線イーサネット接続を使用するには、イーサネットケーブルの一方の端を Avaya Vantage™ の背面にある LAN ポートに差し込み、もう一方の端をネットワークで利用可能な LAN ポートに差し込みます。
   PoE がサポートされている場合は、Avaya Vantage™ の電源が入り、初期化が開始されます。
2. **(オプション)** デバイス背面の USB Type-C 電源コネクタポートに電源アダプタを接続します。次の場合は、電源アダプタをコンセントに差し込みます。

   - ネットワークで 802.3at（PoE）または 802.3af（PoE）インジェクタ仕様がサポートされていない場合。
   - Wi-Fi 接続を使用する場合。

   デバイスの電源が入ります。
3. **(オプション)** プロンプトが表示されたら、Device Enrollment Services の登録コードを入力します。

   Device Enrollment Services はデバイスを適切なファイルサーバーにリダイレクトします。登録コードがない場合は、**スキップ**をタップして、手動または電子メールを使用してファイルサーバーアドレスを設定します。

結果

デバイスがネットワークに正常に接続し、DHCP、LLDP、Device Enrollment Services 検出からファイルサーバーアドレスを取得すると、デバイスはホーム画面に移動します。デバイスは、バッ

クグラウンドで設定ファイルとソフトウェア更新ファイルのダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、デバイスが再起動して更新を適用する場合があります。

デバイスが DHCP、LLDP、Device Enrollment Services 検出からファイルサーバーアドレスを自動的に取得できなかった場合は、デバイスにデバイスのセットアップを案内する Avaya インストールウィザードが表示されます。ネットワークへの接続がない場合、Wi-Fi モードの選択と Wi-Fi ネットワークの設定を案内するインストールウィザードが表示されます。

Avaya インストールウィザードを使用して Avaya Vantage™ を設定する

このタスクについて

新しい Avaya Vantage™ デバイスの電源を初めてオンにする、または工場出荷時の状態にリセットし、デバイス設定が自動的に完了していない場合は、Avaya インストールウィザードが表示され、デバイスの設定を案内します。ネットワークへの接続がない場合、デバイスに Wi-Fi ネットワークへの接続をセットアップするためのインストールウィザードが表示されます。

注：

インストールウィザードをスキップして、ファイルサーバーアドレスとグループを**設定 › ネットワークとインターネット › その他 › ファイルサーバー**から手動で設定できます。

手順

1. ようこそ画面で、使用する言語を選択します。
2. **(オプション)** 拡大や TalkBack などのユーザー補助機能を有効にするには、**ビジョン設定**をタップします。
3. ネットワーク接続画面で、デバイスのネットワークへの接続方法を選択します。
   - **有線（イーサネット）**：イーサネットケーブルを使用してデバイスをネットワークに接続します。
   - **ワイヤレス（Wi-Fi）**：ワイヤレスネットワーク接続の Wi-Fi ネットワークを選択します。
4. **(オプション)** ネットワークモードを Wi-Fi に設定する場合、次の手順で Wi-Fi ネットワークに接続します。
   a. Wi-Fi に接続画面で、利用可能な Wi-Fi ネットワークから使用するネットワークを選択します。
   b. 認証が必要なワイヤレスネットワークでは、ネットワークの資格情報を入力し、次から該当する CA 証明書オプションを選択します。
      - **システム証明書を使用する**
      - **確認しない**
   c. **接続**をタップします。

   デバイスがネットワークに接続されると、DHCP または Device Enrollment Services 検出を通じてネットワークからデバイス設定の取得を試みます。この自動設定をスキップして次の設定画面に移動するには、**スキップ**をタップします。

   デバイスがネットワークからファイルサーバーアドレスを正常に取得すると、設定ファイルとソフトウェアアップデートファイルのダウンロードを開始します。ウィザードでタイムゾーンの選択画面に進みます。手順 10 (9 ページ) に移動します。

デバイスがファイルサーバーアドレスを取得できない場合、ウィザードは次の設定画面を表示します。

5. **(オプション)** プロンプトが表示されたら、Device Enrollment Services の登録コードを入力します。

   Device Enrollment Services はデバイスを適切なファイルサーバーにリダイレクトします。登録コードがない場合は、**スキップ**をタップして、手動または電子メールを使用してファイルサーバーアドレスを設定します。

   デバイスがネットワークからファイルサーバーアドレスを正常に取得すると、設定ファイルとソフトウェアアップデートファイルのダウンロードを開始します。ウィザードでタイムゾーンの選択画面に進みます。手順 10 (9 ページ) に移動します。

6. 設定オプション画面で、次のいずれかを選択します。

   - **電子メールベースの設定**：管理者からデバイスの自動設定に会社の電子メール ID を使用するように指示されている場合は、このオプションを選択します。
   - **手動設定**：管理者からのファイルサーバーアドレスとグループ情報がある場合は、このオプションを選択します。

7. **電子メールベースの設定**を選択する場合は、次の画面で会社の電子メールアドレス ID を入力して**次へ**をタップします。
   ウィザードは、電子メールアドレスのドメインに基づいて、使用可能なファイルサーバーの設定を取得します。手順 10 (9 ページ) に移動します。

8. **(オプション)** ウィザードで一連のファイルサーバー環境から選択するように求められた場合は、自分に適した環境または管理者から使用を指示された環境を選択し、**次へ**をタップします。手順 10 (9 ページ) に移動します。

9. **手動設定**を選択する場合は、Avaya Vantage 設定画面で、次の設定情報を入力します。

   - **ファイルサーバー**：設定ファイルサーバーのアドレス。
   - **資格情報**：ファイルサーバー認証でデバイスで使用するユーザー名とパスワードです。ファイルサーバーで HTTP 認証が必要な場合、この資格情報を入力します。
   - **グループ**：デバイスの固有の構成設定のユーザーグループ ID です。グループ情報はオプションです。管理者から受け取った場合は、ユーザーグループ ID を入力します。

   管理者に連絡して、お使いのデプロイメント環境に適したファイルサーバーのアドレスとグループ値を取得してください。デバイスのサーバー認証で資格情報が必要な場合、管理者が詳細を送信します。

10. プロンプトが表示されたら、該当するタイムゾーンを選択します。

11. インストールするアプリケーションを選択するように求められたら、アプリケーションの横にあるトグルボタンを有効にします。

    管理者が行った設定とネットワークのロケーションに応じて、次のオプションを使用できます。

    - Google Play™ ストア：これを有効にすると、Google Play ストアのデバイスへのインストールの準備が整うと、Google 利用規約に関する通知が届きます。デバイスに Google Play ストアをダウンロードしてインストールするには、すべての利用規約を読み、同意してください。
    - Avaya Alexa：Avaya Alexa を有効にするオプションは、ロケーションに基づいて使用できます。現在、Avaya Alexa は米国とカナダでのみ利用できます。

12. **閉じる**をタップします。

結果

デバイスでホーム画面に移動します。デバイスは、バックグラウンドで設定ファイルとソフトウェア更新ファイルのダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、デバイスが再起動して更新を適用する場合があります。

Avaya Vantage™ へのハンドセット接続

Avaya Vantage™ にはスピーカーとマイクが内蔵されているため、通話の発信および管理のためにハンドセットは必要ありません。有線またはワイヤレスハンドセットを別途購入することもできますが、ハンドセットにはクレイドルキットが付属しています。Avaya Vantage™ でハンドセットを使用するには、ハンドセットクレイドルをデバイスに接続する必要があります。

ハンドセットクレイドルを Avaya Vantage™ に接続する

このタスクについて

この手順を使用して、ハンドセットクレイドルを Avaya Vantage™ デバイスに接続します。ハンドセットクレイドルは、有線およびワイヤレスハンドセットの両方で必要になります。

> **警告**
>
> クレイドルを接続する際、 のコネクタピンを曲げないように注意してください。

前提条件

- 次の装置が用意されていることを確認します。
  - Avaya Vantage™ デバイス。
  - 接続ケーブルが付属したハンドセットクレイドル。
- Avaya Vantage™ デバイスが電源に接続されていないことを確認します。

手順

1. クレイドルの右側が卓上デバイスに接するように置き、ハンドセットクレイドルを取り付ける左側が上になるようにします。
2. Avaya Vantage™ デバイスの左側にある、クレイドルのコネクタピンの保護用ゴム製ガスケットを取り外します。

   クレイドルを正しい向きに設置できるよう、クレイドルのコネクタピンの 1 つは閉じられています。
3. ハンドセットクレイドルのケーブルを、Avaya Vantage™ デバイスのクレイドルコネクタに接続します。

   > **ヒント：**
   >
   > クレイドルのケーブルを円弧状に曲げ、ケーブルが簡単にクレイドルのコネクタに接続できるようにします。

4. クレイドルを Avaya Vantage™ デバイスに接続し、その際に接続ケーブルがクレイドルとデバイスの間でねじれていないことを確認します。
5. ハンドセットクレイドルスタンドのクロスバーを、Avaya Vantage™ スタンドの背面の溝にはめ込みます。
6. クレイドルの背面パネルのヒンジを使用して、ハンドセットクレイドルをクレイドルスタンドに接続します。
7. 有線ハンドセットを使用している場合は、RJ9 ハンドセットコードの一方の端をハンドセットに接続し、もう一方の端をハンドセットクレイドルの底部の RJ9 ポートに接続します

Next Steps

Avaya Vantage™ を電源に接続します。

有線ハンドセットを接続する

このタスクについて

この手順を使用して、有線ハンドセットを Avaya Vantage™ に接続します。

前提条件

ハンドセットクレイドルが、Avaya Vantage™ デバイスに接続されていることを確認します。

手順

1. ハンドセットコードのねじれがない側の端を、ハンドセットクレイドルのハンドセットコネクタに差し込みます。
2. もう一方の端を、ハンドセットのコネクタに差し込みます。

ワイヤレスハンドセットを接続する

このタスクについて

この手順を使用して、ワイヤレスハンドセットを Avaya Vantage™ デバイスに接続またはペアリングします。ワイヤレスハンドセットをお使いの Avaya Vantage™ デバイスとペアリングすると、有線ハンドセットを使用できます。デバイスに同時にペアリングできるのは、ワイヤレスハンドセット 1 つのみです。

この手順が完了し、ハンドセットがオンになっていれば、ワイヤレスハンドセットを使用して通話できるようになります。ハンドセットをオフにすると、ハンドセットを使用して通話はできませんが、Avaya Vantage™ とはペアリングされたままの状態になっています。

> **注：**
>
> ワイヤレスハンドセットクレイドルがデバイスに接続されると、デバイスはハンドセットのペアリング方法を説明する通知を表示し、適切なメニューオプションにリダイレクトします。

前提条件

- ハンドセットクレイドルをお使いの Avaya Vantage™ デバイスに接続します。
- Avaya Vantage™ デバイスを起動します。

このドキュメントに関するお問い合わせ先：

- クレイドルにハンドセットを置いてハンドセットのバッテリを充電します。
- ワイヤレスハンドセットをオフにします。

手順

1. ワイヤレスハンドセットをクレイドルから持ち上げ、上部の**電源**ボタンを 15 秒以上押すと、ペアリングモードになります。

ハンドセットがペアリングモードになると、ハンドセットの LED が 1 秒ごとに 2 回点滅しはじめます。

2. ホーム画面で上方向にスワイプすると、デバイスで使用可能なすべてのアプリケーションにアクセスできます。
3. **設定 › 接続デバイス**をタップします。
4. **新しいデバイスのペアリング**をタップします。
   Bluetooth® が自動的にオンになります。
5. 使用可能なデバイスのリストで、ハンドセットの下部のラベルの ID と一致するエントリをタップします。

   ハンドセットエントリが Avaya-J100-XXXXXX と表示され、最後の 6 桁はハンドセットの一意の ID を表します。
   ペアリングが成功すると、現在接続されているデバイスのリストに、接続済みのワイヤレスハンドセットが表示されます。

   接続デバイスメニューには、ワイヤレスハンドセットのペアリングと接続に関連するヒントが表示されます。

Avaya Vantage™ にログインする

このタスクについて

この手順を使用して Avaya Vantage™ とビルトイン UC エクスペリエンスに手動でログインします。ビルトイン UC エクスペリエンスには、SIP 資格情報または Avaya Aura® Device Services の統合ログイン資格情報のいずれかを使用してログインできます。

前提条件

システム管理者からログイン資格情報を取得します。

注：

ユーザーの内線番号を変更するか、以前に使用したデバイスで異なる資格情報を使用してログインするには、新しいユーザー情報でログインする前にデバイスをリセットします。デバイスをリセットすると、以前のユーザーデータがすべて削除されます。

手順

1. 起動後にデバイスに表示される画面に応じて、次のいずれかを実行してログイン画面を表示できます。
   - ホーム画面で、**サインイン**をタップします。

     これは、管理者が起動後に Avaya Vantage™ デバイスにホーム画面が表示されるように設定している場合にのみ利用できます。
   - 起動後に表示される初期ロック画面で上にスワイプします。

     管理者がプラットフォームログインモードを有効にしている場合、デバイスにはホーム画面ではなくこの画面が表示されます。
2. **ユーザー名**フィールドに、SIP または Avaya Aura® Device Services のユーザー名を入力します。

   IP Office 環境で、このフィールドに SIP 内線番号を入力する必要があります。
3. **パスワード**フィールドに、ユーザーパスワードを入力します。
4. **(オプション) 認証ユーザー名**フィールドに SIP 内線番号を入力します。

   このフィールドは、Open SIP 環境でのみ使用可能であり、管理者が設定した設定によって利用状況が異なります。
5. **次へ**をタップします。

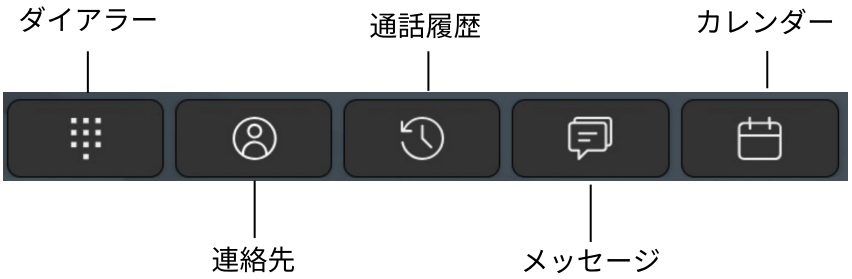
   Avaya Aura® Device Services の資格情報を使用する場合は、SIP の資格情報も入力する必要がある場合があります。
6. 初めてログインするときは、ソフトウェア使用許諾契約に同意します。
   Avaya Vantage™ には管理者が設定した設定に応じて、ビルトイン UC エクスペリエンスのホーム画面またはダイヤルパッド画面が表示されます。

   以降のデバイスの再起動時には、Avaya Vantage™ ビルトイン UC エクスペリエンスから手動でログアウトしない限り、自動的にログインします。

Avaya Vantage™ ビルトイン UC エクスペリエンスナビゲーションアイコン

Avaya Vantage™ ではデバイスのホームページにナビゲーションアイコンが表示され、ビルトイン UC エクスペリエンスのテレフォニー機能にすばやくアクセスできます。

K175 デバイス



K155 デバイス

メッセージおよび**カレンダー**などの一部のナビゲーションアイコン機能は、デバイスの設定によって異なります。

チャプター 3：ソフトウェアアップデートをすぐに適用する

このタスクについて

Avaya Vantage™ はファイルサーバーから定期的に最新のソフトウェアアップデートを自動的にダウンロードして適用します。最新のアップデートを手動でチェックし、新しいバージョンが利用可能な場合はすぐに適用することもできます。

手順

1. デバイスの **設定**メニューに移動します。
2. **システム › Avaya Vantage について › ソフトウェア情報**をタップします。
3. **今すぐアップデート**をタップします。
   新しいソフトウェアバージョンが利用可能な場合、Avaya Vantage™ はアップグレードプロセスを開始します。デバイスがすでに最新のソフトウェアを使用している場合は、次のメッセージが表示されます。電話は最新の状態です。

デバイスのソフトウェアバージョンを確認する

手順

1. デバイスの **設定**メニューに移動します。
2. **システム › Avaya Vantage について**をタップします。
3. **ソフトウェア情報**をタップします。
   ソフトウェア情報ページには、ソフトウェアバージョン、ビルド番号、Android バージョンが表示されます。

規制マークを表示する

このタスクについて

デバイス画面には、Avaya Vantage™ デバイスに適用される規制マークを表示できます。

手順

1. デバイスの **設定**メニューに移動します。
2. **システム › Avaya Vantage について**をタップします。
3. **規制ラベル**をタップします。
   規制ラベルページには、Avaya Vantage™ に適用されるすべての規制マークが表示されます。

このドキュメントに関するお問い合わせ先：

チャプター 4： Support

最新のドキュメント、製品に関する通知、ナレッジ記事を入手するには、Avaya サポート Web サイト（https://support.avaya.com）にアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。